



榎原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.18
令和2年 7月 6日
文責:校長 酒井 健

◇「いかのおすし」・・・基本が大切ですね。

7月3日(金)、榎原駐在所の菅野貴弘さんにお越しいただき、「防犯教室」を実施しました。不審者役に扮した菅野さんが職員玄関から入ってきたところから「防犯教室」は始まりました。

体育館へと避難する子どもたちの表情は、真剣そのものでした。体育館では、3密を回避するとともに、全員マスクを着用しての学習でありましたが、子どもたちは、菅野さんのご指導に、しっかりと耳を傾けていました。

最近、県内にて不審者による声かけ事案が数多く発生しています。下郷町においても、不審者とみられる人物を見かけたという事案がありました。声をかけられたり、追いかけられたりということはありませんでしたが、これからの季節、不審者の出現は多くなると考えられます。

今回の「防犯教室」での指導をはじめ、常日頃から子どもたちへ指導を繰り返し行ってまいります。



「いかのおすし」の徹底



ここがポイント!

①防犯ブザーは正常に作動しますか?

「大声をあげる」とありますが、不審者と突然遭遇してしまうと、声をあげることができなくなることも想定されます。そんな時、一番有効なのは、「防犯ブザー」です。しかし、実際に使用しなければいけない時に、作動しなければ意味がありません。

電池が十分か、故障していないか、ご自宅でも定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

②もしも不審者に遭遇した、見かけたという時は?

このことが、全県においても課題となっています。見かけた・声をかけられた → 家に帰って夕食時に初めて保護者へ伝える → 翌日、保護者が学校や警察に連絡をする・・・では、遅いということです。当然、不審者は、もうそこにはいません。

子どもたちへは、すぐに、その場で、近くにいる大人に知らせるように指導をしています。即対応が不審者根絶のカギだと思います。

【校長のひとりごと】

東京都をはじめ、首都圏においてコロナウイルス感染拡大が危惧されている状況ではありますが、福島県内では新たな感染者は確認されておらず、会津域内、南会津域内では、感染者ゼロが続いております。学校として、解除は、解放でも解禁でもないという思いで、毎日、子どもたちの生活における安全・安心に努めているところです。全国的に花火大会が中止とされている中、榎原小学校でいくつもの大輪の花火が打ち上げられました。支援員の五十嵐美恵子さんの手作り花火です。毎日、この花火を目にする子どもたち・・・とてもステキな花火です。

